

# 大会展望

## 男子展望

今大会の優勝候補の筆頭は、個々の能力が高い選手を擁し、選手層の厚い美濃加茂があげられる。昨年の全国選抜大会においては2回戦で涙をのんだが、主力であった下級生が多数おり、実績・経験とも申し分がない。対抗には、岐阜地区を1位で突破した岐阜総合があげられる。得意とするスピーディで攻撃的なバスケットは健在である。また東濃地区1位の中津川工、岐阜地区2位の富田も、非常にバランスのとれたチームであり、上位に進出してくるであろう。それ以外にも、岐阜農林・可児工・長良・高山西などのチームも、実力は均衡しており、どの試合も熱戦が繰り広げられることが予想される。

Aブロック、第1シードの美濃加茂が最有力である。ガード打江、長身センター沓・赤土と昨年から活躍している選手を軸に、破壊力のあるバスケットを展開するであろう。対抗には、中濃地区2位の可児工と西濃地区1位の大垣北の勝者が有力である。上背はないが機動力を生かしたバスケットで上位をねらう。

Bブロック、第4シードの中津川工が有力である。チーム力が非常に高く、信条とする粘り強いディフェンスで上位に進出するだろう。対抗には、岐阜地区3位の岐阜農林、飛騨地区1位の高山西があげられる。東濃地区2位の土岐商の活躍にも期待したい。

Cブロック、第3シードの富田は、上背はないが、粘り強いバスケットで虎視眈々と上位をねらっている。対抗には、岐阜地区4位の山県、飛騨地区2位の斐太があげられる。個々の能力の高い大垣東の活躍にも期待したい。

Dブロック、第2シードの岐阜総合が有力である。地区予選では富田を破り、勢いにのっている。対抗には、岐阜地区5位の長良があげられる。順当に行けば、この2校がベスト4をかけて戦うであろう。

## 女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。昨年の全国選抜大会ではベスト16に進出し、その大会を経験した下級生も健在で、つけいる隙は見当たらず優勝候補の筆頭である。対抗には、岐阜地区を2位で突破し勢いにのっている長良、上背はないが機動力のある岐阜総合、中国人留学生を擁し、総合力の高い高山西があげられる。それ以外にも、チーム力の高い県岐阜商・大垣商などがあげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。

Aブロック、第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するだろう。対抗には、東濃地区1位の土岐商があげられる。

Bブロック、第4シードの高山西が有力である。対抗には、基本に忠実な県岐阜商があげられる。順当に行けばこの2校がベスト4をかけて戦うであろう。各地区上位の美濃加茂・多治見北の活躍にも期待したい。

Cブロック、第3シードの岐阜総合が安定した力を見せ、ベスト4に進出するだろう。対抗には、西濃地区1位の大垣商があげられる。郡上・中津商の活躍にも期待したい。

Dブロック、第2シードの長良が最有力である。対抗には、中濃地区1位の加茂、近年着実に力を着けてきている岐阜農林があげられる。